

5. 27中央行動活動報告

15. 6. 6

竹内

報道でも取り上げられていますが参加したときは、国会でちょうど労働法制と戦争法案で論議の真っ只中、生協労組おかやまから6名の参加で早朝から行動を行いました。

今回の中央行動の全体の目的は

- ① 集団的自衛権行使などの戦争立法の反対
- ② 最低賃金の大幅引き上げ。
- ③ 労働法制改革の断念。全国統一最低賃金の確立、公務員給与の改善。 等

省庁前宣伝行動

全国から生協労組・自治労・医労連・運輸一般・教員労組など約250名の参加者で総務省と厚生労働省前で要求行動を行いました。

総務省では公務員の給与制度見直して、「総人件費を下げると人員が削減されて、住民のサービスが行き届かなくなる」「自治体に財政介入をちらつかせて圧力をかけるな」と訴えていました。



厚労省前では、最低賃金の問題点で

「低すぎる額」

「地域間格差」

「貧困解消の意思がない」「中央審議会の非民主化」

の4点を上げて発言。



各団体の決意表明では、生協労組を代表して書記局の山本さんがパート労働の生活実態を発言。「パートの収入で家族を養うのはとても大変」と切実に訴えていました。



決起集会

宣伝行動の後日比谷野外音楽堂に移動して、全国から約1000人の仲間（内生協労組は69名）が集まり「戦争立法反対・労働法改悪反対」の決起集会を行いました。



国会情勢報告では共産党の小池議員から「今ちょうど平和安全特別委員会で戦争法の論議をしている。戦争法案の中身が分かれば国民は皆反対する。若い人たちを中心に「戦争に行くのはいや」という声が大きくなった。厚労委員会では派遣労働者を保護して会社を取り締まるものが、会社の人件費を抑える整備作りになっている。趣旨が全く違っている。スキルがあっても正社員と差別されているのが実態。同一労働同一賃金のルールを確立することが大切」と訴えていました。

青年や医労連など5つの団体からの決意表明の後、国会議事堂までデモ行進を行いました。

国会議員要請

パートの上村さんとペアで、岡山から選出の橋本、山下議員など5名の方に議員要請。全員自民党ということもあり、ほとんどが事務員さんの対応で請願を聞くだけでした。

その中で、和歌山の二階俊博議員の政策秘書の方より、「戦争法案は国際貢献上必要だが、最賃は和歌山も715円と低いので独自の方法で考えないといけない」と言われ、最賃問題では関心があるように思えました。

岡山の橋本岳議員の事務員から地元から来たということで、とてもフレンドリーに話ができて、「さすがに地元だと、どの団体が行っても軽視しない」という差別的な風潮を実感しました。



今回参加して

会場で発言されていた人から、「自衛隊が戦闘地域にいったら支援をすることは、戦死するリスクが高くなること。そうすると入隊する人が少なくなるので、低賃金で生活ができない若者は給料のいい公務員すなわち自衛隊に入隊する。今回の戦争立法と労働法制改悪は別物ではない。戦争の現場に多くの日本人を行かせるために、わざと収入が低い労働環境を作って自衛隊に入りやすくする」と言われていました。

私の子供や孫（将来？）が上記のようにアメリカと勝手に約束した安倍内閣の思いどおりにならないためと、甥が海上自衛隊にいますので危険な場所に行かせないためにも、今回ような集会に参加して声を出していくことと、職場等で署名を集める事をやっていかないといけないと思いました。

提案

- ① 戦争法案反対の署名が5月下旬に配布されましたが、中執の職場はもう一度全体で署名のお願いをして、家族の人も含めて協力をしてください。＝思いの数ほど力になります。（久米では実践しました） 最賃と労働法改悪とセットのほうがいいのですが…
- ② 新年度の方針にある「でよかった・ためになった」ことを共感してもらうために今回のような集会に参加した方にはどんな形でもいいので、報告書（感想文）の提出を求めているかがどうですか？＝書記局の報告の事務作業の軽減化のために協力してみれば…